

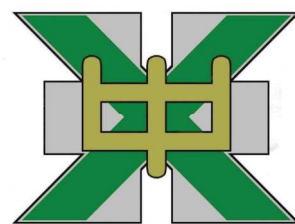
苫小牧市立啓北中学校 学校通信
平成29年7月25日（火）発行

《学校教育目標》

- やり通す
- 協力する
- 前進する

啓北中四本柱

- ・挨拶励行
- ・環境美化
- ・私語撲滅
- ・時間厳守



1学期を終えて

校長 佐竹 秀行

▶今月は初旬に九州北部を記録的な豪雨が襲い、甚大な被害をもたらしたのみならず、多くの尊い命が奪われました。犠牲となられた方々のご冥福をお祈りするとともに、一刻も早い復旧を願うばかりです。北海道でも昨年8月、台風により河川の氾濫や橋の流失など多大な被害を受けており、けっして他人事とは言えません。ここ数年のゲリラ豪雨など、予測のつかない異常気象に対しても十分気をつけたいところです。

▶さて、入学・進級と、新しい仲間や先生方との出会いの中、期待と不安が入り交じってスタートした1学期も本日の終業式をもって終了となります。この約4ヶ月、普段の授業や学級活動、部活動、学校行事などを通して、子ども達一人一人にそれぞれの成長がありました。本日渡された「通知表」には、そんな子ども達の頑張った姿や今後の課題が記されています。1学期の学校生活を振り返るとともに、2学期に向けての大事な「道標（みちしるべ）」として、ご家庭でもお子さんと成果や課題を共有してほしいと思います。ところで、先日ある「学級通信」に次のような保護者のコメントが紹介されていました。「今までで最高の点数ですね。日々の努力が報われました。家庭学習だけでなく先生の話これからもしっかり聞いて次回も頑張ってください。」「数学が分かるようになって良かったです。朝、早起きして勉強しているときもあり感心しています。」「点数も大切だけど毎日こつこつ勉強すれば実力になるよ。その調子で頑張れ！」～これは、先月末に実施された期末テストに向けて、子ども達が個々に作成した「テスト計画表」の保護者欄に記載されていたコメントの一部です。また、先日の「生活リズムチェックシート」の記入にも、多くの皆さまにご協力いただきました。本当にありがとうございます。一日の仕事や家事を終え疲れている中、お子さんから渡されたプリントに目を通し、何と書いてあげようかと悩みながらペンを走らせている保護者の皆さんの姿を想像すると、とても温かい気持ちになります。実は、こうした親や教師など周りの大人から自分は大切にされているという感覚や、自分にどんな成長があったのかを気づかせることは、子どもの「自己肯定感」や「自尊感情」を高めるうえでとても重要です。過剰な自信はうぬぼれになってしまいますが、自己肯定感や自尊感情の高い子ほど困難に出会っても粘り強く努力し、対人関係においても他からの賞賛や批判にあまり左右されず、感情が安定している傾向にあるそうです。残念ながら、本校の子ども達は、例年4月に行われている「全国学力・学習状況調査」では、この「自己肯定感」が比較的低い数値結果となっています。何でも褒めれば良いという訳ではありませんが、小さな目標を達成する体験を積み重ねながら最終目標に近づいていくという「スモール・ステップ」の考え方で、「自分だってできた！」という喜びや自信を持たせたいものです。きっとそれが、学習意欲や生活習慣の向上にもつながっていくことでしょう。

▶明日から26日間の夏休みに入りますが、本市では数年前に中学生が海で亡くなるという痛ましい事故が起きています。そして、水の事故やけがに気を付けるのは勿論ですが、LINE（ライン）等、携帯電話やインターネットに係るトラブルも確実に増えています。本校で発行している生徒指導通信「我ら啓中生」をぜひ一読いただき、取り返しのつかない事態に発展する前に、休み中も十分目配り、気配りをお願いいたします。



(7/18 苫小牧いじめ問題子どもサミット報告会の様子)

8月の主な予定

1 1	金	山の日
2 1	月	始業式
2 3	水	部活動集会
2 6	土	数学検定
2 8	月	学校祭準備開始 教育実習開始
3 0	水	全学年学力テスト

市内小中学生硬筆展 入賞者

<特選>

- 1年 山口陽菜 三好紗矢
2年 齊藤瑠夏
3年 葛西蒼 花朶奈

<金賞>

- 1年 福本颯太 蹴楊正樹 宮里琉ノ介
三上楓子 市橋侑奈
2年 瀧川愛梨 橋本凜咲 藤田沙羅
燕朱音 山縣秋華
3年 菊地由夏 芳野来春 宮澤美友
野別花 鈴木ゆいこ 青木竜也

中体連胆振大会の結果

- 卓球** 3年 吉田海慈 全道代表決定戦敗退
2年 田村竣 全道代表決定戦敗退
2年 猪股彩香 全道代表決定戦敗退
ソフトテニス 2年 内川拓海・2年 蠣崎翔
全道代表決定戦敗退

バドミントン

- 2年 永井柊次 ベスト16
2年 山岸美瞳 ベスト8

いじめ問題子どもサミット報告会

7月18日、生徒会主催で報告会を実施しました。いじめ問題を考える活動も併せて行いましたが、生徒はトラブルを起こさずハッピーな状況をつくるためにどうしたら良いかを真剣に話し合いました。今後も、学校全体でいじめの防止と早期発見・早期対応に取り組んでまいります。ご家庭におかれましても、お子様の様子で気になったことがありましたら、学校へご連絡ください。

子ども相談支援センター 相談窓口のお知らせ

いじめや不登校、体罰などの学校教育に関する悩み、子育て・しつけなど家庭教育に関する悩みなど相談してください。

●電話相談

☎ 0120-3882-56

(無料、毎日24時間対応)

●メール相談

doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp

※急ぎの場合は電話相談を利用してください。

●来所相談 ※10:00～16:00

(土日・祝日、年末年始はお休みです。)

子ども相談支援センター

札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館8階

※上記の電話相談で予約してください。



1学年 体験学習

7月6日、アルテンで体験学習を行いました。自分たちでメニューを決め、食材の買い物をし、火を起こして、炊事を行い、後片付けをしました。自分たちの判断で集団行動することの難しさ、仲間と協力することの楽しさを体感できました。

そして何より、自分たちの普段の生活が、多くの人の支えがあって成り立っていることに気づく貴重な機会になりました。



2学年 宿泊研修

7月6、7日、1泊2日で宿泊研修を実施しました。1日目は藻岩山登山に始まり、ウインターミュージアム、円山動物園、札幌ドームでの野球観戦、2日目は小樽市内での自主研修と盛りだくさんの行程でした。「協力は力なり～みんなでする宿泊学習は何倍も楽しくなる！～」というスローガンのもと、様々な場面において「協力する」姿が見られました。今回の宿泊研修で学んだことを今後の学校生活に活かしてほしいと思います。



正しい道路通行をしましょう！「飛び出し」や「路上での遊び」などは大変危険な行為です。また、自転車の2人乗りや無灯火での走行、信号無視など事故につながるような乗り方はしないでください。

交通遺児助成金応募（公益財団法人 出光文化福祉財団）について

助成対象者の範囲：自動車による交通事故で一家の支柱を失われた中学生

助成内容：年額60,000円(返済義務なし)

募集人数：5人

※希望する場合、担任までお知らせください。
9月末〆切